

# いきちゃん通信

## どう生きるか

こんにちは、現在懇談期間中です。

来年の今頃は、進路の決定に関する懇談になるので非常にシビアな話をしなければなりません。今回の懇談では極力3年生になってみなさんが進路決定をしやすくなればいいと思い、高校の話をしたり、君たちの適正や学校生活について話をさせてもらったりしています。

さて、タイトルの「どう生きるか」！！

懇談のなかで大体の進路を考えている人、目標やこの先にしたいことがまったく見えてこない人、行きたい高校や進路はあるけど、学力等の理由で言いたくても言えない人など様々なケースがありますよね。しかし、時間は待つてはくれません。真剣に考えても、何も考えずダラダラと過ごしていても、再来年の3月になれば中学校を卒業しなければなりません。当たり前なことなんですけど、いつまでも子どもでいたい！と強く願っても大人になります。(年齢という観点では)

前回の通信では、がん闘病をしながら必ず戻ると生徒に宣言して命を燃やし続ける校長先生の話をしていただきましたが、僕の中高校の恩師と以前勤めていた職場で出会った先生の話をしたと思います。

### ステージ4からの復帰

今年、小林麻央さんが乳がんの闘病で命を落としました。ニュースなどで報道されたようにがんの進行はステージ4と宣告されたということでした。僕の身近な人ではステージ4と宣告されて社会復帰した人が二人もいます。しかも、お二人

の共通点が完全に社会生活を送れるようになったということなんです。

中高の恩師の先生は僕を指導者の道へ導いてくださったまさしく恩師なのですが、退職されてからがんを患われました。がんは体中に転移しているということでしたので、正直、「もう長くはないだろう」と思い先生に会いに行きました。

すると先生は以前よりも痩せて小さくなっていました。会うなり「おう、俺がもうすぐ死ぬから会っておこうと思ってきてくれたんか！」と言われたので、嘘についても仕方がないので「はい」と答えました。すると、先生は「りきすけ！俺はまだ死なないよ」という返事が返ってきたのです。がんが怖くないかを尋ねたら、ありのままを受け入れて心を上向きにすることの大切さを教えてくださいました。**怖い怖いと嘆き悲しむのなら、与えられた命をどう燃やすか、どう生きるかが大切なのだと。**あれから10年不思議なことに先生の体からがん細胞が消えてなくなったようなのです。

24歳でステージ4を宣告された女性の先生の話。

ある日同じ職場で勤めていた先生が突然入院することになり、理由を聞くとガンだとわかりました。僕の家から比較的近く入院されたことや、仲が良かったこともあり、病院にお見舞いに行きました。さぞ、悲しんでいるだろうと思い、どう励まそうか考えていました。病室につくと笑顔で迎えてくれ、「大丈夫か？」という僕の問いかけに「私、死ぬ気がないのでだぶん大丈夫です。」と笑っているのです。しかも、「まあ、ガンのステージは4なので、危ないらしいけど、私、本当に死なないと思います」と言うのです。最初は気丈に振る舞ってえらいなあとか思っていたのですが、だんだんと、この人なら死なないだろうと感じられるほど、この先も当たり前のように生きていくという意味を感じたのでお見舞いに行ったこちらが逆に勇気づけられるということになりました。

あれから、10年。病院に検診にはいくものの、再発の恐れがほぼなくなったと聞いています。

この二人の共通点は心の持ち方です。

恩師は明るく振る舞うだとか、そういった行動ではなく、ありのままを受け入れた後で、心を上向きに保ち毎日を生きてこられた。

同僚の女性の先生は、自分の寿命が終わるなんてイメージがなかったし、当たり前のようにこの先の人生が続いていくと信じて疑わなかった。

ひょっとしたら奇跡的な話として扱われるのかもしれませんが、二人には奇跡とかそんな意識がまったくなかったのです。

ごく、当たり前毎日を上向きに過ごす。

こんな毎日の積み重ねが大きな成果に結びつくのです。

来年は3年生になります。再来年は卒業です。

毎日どのような心がけで過ごすかで君たちの人生も変わることでしょう。

毎日明るく朗らかに過ごし、たくさんの人に愛され、可愛がられる人生を歩んでください。

どうせ無理、自分にはできない、遺伝子が・・・。

人間はできない理由を探すのが得意です。辛いとき、悲しいときこそが意識すべき時です。来年、出遅れないようにいまから準備しておきましょう。

心が変わればすべてが変わります。

応援しています。がんばれ！！